

平成19年度 第1回景観ワークショップ グループディスカッション記録

1 日時 平成19年7月21日(土) 10:00~12:30

2 参加者

時任光二、岡本進、岡野光伸、三藤恵美子
*スタッフ 池上、船本



3 グループ名

「親」しみず 「暮」しみず 「楽」しみず

またの名を
「しみず^{さん}3」?

*したしみ、くらし、たのしみ、に「水」と「'S」をかけてみました!

4 テーマ:生活するうえで欠かすことのできない水について、どういった形態で普通の暮らしに係っているのか探していきたい。まずは水に親しみ、そして暮らしの水について考え、その過程を楽しんでいきたい。

5 自己紹介等

(時任さん)

- ・ ミニコミ誌「きつつき」の特集で、地元の人にインタビューする企画をしている。地元の人にインタビューして、今のまちを新しい人に伝えていければ。
- ・ 村にあって、みんなが憩える場所がいい。
- ・ 例えば、昔のように水路で大根が洗えるような、暮らしの中での水との関わりがあればいいと思う。
- ・ 五社水路など、水路は昔からたくさんある。

(岡本さん)

- ・ 水というのは、生まれてから死ぬまで、生活に密着している。
- ・ 郡上八幡の例。地域の特性を活かす。
- ・ 身近に水とふれあえる場として、ピオトープにも興味がある。
- ・ 昔から、神社の池など地域の生活の中にあっただが、今は公共の場(噴水など?)での「フェスタ」がそれに替るのでは?
- ・ 雨水利用で節水もできる。

(岡野さん)

- ・ 水路、ピオトープの他、屋上緑化、壁面緑化などにも興味がある。
- ・ 新潟地震で水不足が問題になっていたが、川など水をいかすことで、防災対策にもなるのではないか。
- ・ 高槻市は幸い下水道普及率が高いので、水路などの水の利用について考えるチャンスだと思う。

(三藤さん)

- ・ 水辺の野鳥の観察などに興味があるが、今回のワークショップでは、水路や水をテーマにいろんなことを勉強したい。
- ・ 水に「親しむ」ことを考えたい。

